

市川町総合計画及び第3期市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関するパブリックコメントの実施結果について

市川町総合計画及び第3期市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案を公開し、町民の皆さまからご意見を伺うパブリックコメントを実施いたしました。ご提出いただいたご意見と、それに対する町の考え方を取りまとめた結果を次のとおり公表いたします。

1. 実施概要

(1) 実施期間

令和8年2月4日（水）～令和8年2月25日（水）

(2) 提出人数

- ・ メール：1件（1人）
- ・ 文書：1通（1団体）

(3) ご意見の数

15件

2. 提出された意見と回答

No.	頁	ご意見等	回答等
1		<p>パブリックコメント募集が町民に届いていない時点で失格 今回のパブリックコメント募集が、町民にほとんど周知されていない現状を見れば、この計画が「住民と共有して進める計画」ではなく、最初から行政内部で完結した計画であることが透けて見えます。 市川町にはLINEなどの発信手段があるにも関わらず、周知が弱い。 これは「できない」のではなく「やっていない」としか思えません。 住民意見を求める姿勢が本気なら、募集が広く知られていない状況は起こり得ません。 この時点で、パブリックコメント制度そのものが形骸化していると言わざるを得ません。</p>	<p>周知が出来ていないというご意見を重く受け止め、パブリックコメント期間を1週間延長した上で、公式ラインで周知を行いました。 また、町の各種計画のパブリックコメントについては、現在ホームページのみでの募集を行っていますが、公式ライン等でも周知を行うなど各課統一し、幅広く周知できるよう改善いたします。</p>
2		<p>人口減少を直視していない。現実逃避の計画に見える。 人口減少を止める努力は必要ですが、現実には一定の人口減少は避けられません。 それにも関わらず、この計画からは「人口が減る前提でどう町を維持するか」という現実的な視点が弱いと感じます。人口減少を「防ぐ」だけでなく、 ・コンパクトな町づくり ・公共サービスの維持方法 ・交通網の再設計 ・行政コスト削減の優先順位 を示さない限り、計画は単なる理想論で終わります。 正直、この計画は「減っていく町をどう守るか」という覚悟が見えません。</p>	<p>具体的な施策や方針の提案ありがとうございます。総合計画は大まかな町の方針を策定するものをご理解を頂きたいです。ご指摘いただいた具体的な内容については、参考意見としてお受けし、庁内で意見を共有いたします。</p>
3		<p>総合計画が「町民参加型」ではなく行政主導で閉じている。 総合計画は町民の未来を決めるものであり、行政の自己満足の資料ではありません。 しかし、周知不足のパブリックコメント募集を見ても、町民参加を本気で実現しようとしているとは思えません。 計画を作った時点で終わりではなく、 ・進捗を毎年町民に公開する ・KPIが達成できない場合は理由と改善策を明示する ・町民意見を反映する仕組みを制度化する このような「説明責任」を明確にしなければ、結局また形だけの計画で終わると思います。この計画案は、方向性としては理解できる部分もありますが、全体として町民目線が弱く、行政内部の論理で作られた印象が拭えません。 周知不足、産業偏重、人口減少への現実的対応不足、交通導線の弱さ、防災の地域任せなど、町民から見れば課題は明確です。「計画を作った」という成果ではなく、「町を変えた」という成果を出すために、計画内容の実効性と町民参加の徹底を強く求めます。</p>	<p>ご指摘のとおり計画は策定するだけでなく、計画の進捗管理や実効性が重要と考えます。 ・進捗状況は毎年度ホームページで公開しています。 ・進捗状況と同時に評価・課題について明示していますが、今後は具体的な改善策も掲載します。 ・町民意見を反映するために、アンケート調査や各種団体の長が委員となる振興計画審議会で計画についてご意見をいただいています。しかし、ご指摘の様に幅広く町民の意見をお聞きするため、今後はパブリックコメントの周知徹底や町民の皆様との対話の機会を充実させ、より参加型のまちづくりを推進してまいります。</p>

2. 提出された意見と回答

No.	頁	ご意見等	回答等
4	22	<p>市川町の本当の資源を探す努力が見えない。 市川町には、町外に誇れる資源がまだ眠っています。例えば甘地の清水など、地域の宝になり得るものが存在します。しかし、町としてそれを必死に掘り起こし、発展させようとしているようには見えません。「観光」「関係人口」と言葉だけ並べているように見え、町の魅力づくりが受け身であることが残念です。町の未来をつくるなら、町が汗をかいて資源を探し、磨き、発信するべきです。現状は「産業があるから大丈夫」という慢心すら感じます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり対応します。</p> <p>【修正】</p> <p>(修正前) 「農業体験や文化資源を活かした体験型プログラムを整備し、四季を通じて楽しめる市川町の魅力を高めま す。」 ↓ (修正後) 「農業体験や文化資源を活かした体験型プログラムに加え、笠形山をはじめとする低山登山の魅力を発信し受 入環境の充実を図り、登山者層をターゲットとした誘客を強化します。町内に眠っている観光資源や文化資源 を掘り起こし、魅力を町内外にPR することで、四季を通じて楽しめる市川町の魅力を高め、年間を通じた安定 的な来訪者確保を目指します。」</p>
5	22	<p>ゴルフ産業を町全体の利益に繋げる発想が足りない。 ゴルフアイアンを買いに有名スポーツ選手がお忍びで来ているという話を聞きます。もし本当なら、これは町にとつて極めて大きな資源です。にも関わらず、町がその繋がりを活かして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のPRイベント ・マラソン大会への目玉ランナー招致 ・子ども向けスポーツイベント <p>などに発展させているようには見えません。「産業を推す」と言うなら、町全体が潤う仕組みを作らなければ意味がありません。現状では「強調しているだけ」で、戦略として弱いと感じます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。著名人のご愛用を本町の誇りとし、プライバシーに配慮しつつ、今後はSNS等での戦略的な発信や公式な連携の可能性を検討します。本町のブランド価値を高め、地域活性化に繋がるよう努めてまいります。</p>
6	23	<p>ゴルフアイアン偏重は「町民不在の政策」に見える。計画ではゴルフアイアン産業が繰り返し強調されていますが、町民の実感として、そこまで誇りや一体感が生まれているとは感じません。町の子どもスポーツ環境を見ても、町としてはバレーボールばかりがピックアップされており、ゴルフ文化が地域に根付く土壌があるとは思えません。また、ゴルフ関連企業が町のためにどれほど協力しているのか、町民から見ると全く見えません。企業が儲かっているだけで、町に還元されていないように見える現状では、町民が乗ってこないのは当然です。産業を町の柱とするなら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献の可視化 ・町民向け還元施策 ・子ども世代への教育普及 ・観光・イベントとの連携強化 <p>をセットで進めなければ、単なる「一部業界優遇」に見えるだけです。</p>	<p>市川町産のゴルフアイアンは、ふるさと納税制度を通じて、多くの方からご寄附をいただいております。いただいたご寄附で子育て支援などの施策に活用しております。また全国的にも市川町＝ゴルフアイアンの町が認知されつつあり、まちの魅力発信に繋がっていると考えております。現在、小学校でのゴルフの体験やゴルフアイアン製造工場見学など地域の産業に触れ合う機会をつくっておりますが、ゴルフから観光誘客・イベント企画などへの水平展開を検討してまいります。</p>

2. 提出された意見と回答

No.	頁	ご意見等	回答等
7	44	<p>甘地駅があるのに、町のイベント導線が弱すぎる。市川町には甘地駅という重要な交通拠点があるにも関わらず、町の催し物の多くは文化センターやスポーツセンターなど、駅から遠い場所で開催されています。これでは町外から人を呼び込む気があるのか疑問です。</p> <p>特に市川マラソン大会は「全国」をうたっていますが、全国規模を名乗るなら、甘地駅から会場へのシャトルバス運行は最低限必要です。また、全国をうたうなら、最低でもハーフマラソンの実施など、内容の格上げが必要です。現状のままでは「全国」という言葉が空虚で、誇大表現に見えます。市川マラソン大会の運営は「全国」を名乗るレベルに達していない。市川マラソン大会について、町として「全国」を掲げるのであれば、開催時期・内容・運営を根本的に見直すべきです。</p> <p>まず開催時期が2月であることについて、姫路城マラソンや大阪マラソンと日程が近く、競技者が分散するため、わざわざ市川町を選ぶ理由が弱くなっています。また、過去の開催を見ても市川マラソン当日は天候が悪く、雪や雨でコンディションが悪い年が多い印象があります。「全国」を掲げながら、参加者にとって過酷で魅力が薄い日程設定になっている現状は、戦略として疑問です。</p> <p>さらに町内小学生の参加率も低い状況であり、町民の盛り上がりに伴っていないことが課題です。町内小学生は12月に学校行事としてマラソン大会があるため、町のマラソン大会と連動・統合するなど、地域全体で盛り上げる仕組みを作るべきです。</p> <p>また、参加者目線で見たとときに、トイレが少ないなど運営面の課題も改善が必要です。町外から人を呼び込むイベントである以上、最低限の受け入れ体制が整っていなければ、リピーターも増えません。</p>	<p>マラソン大会への改善案ありがとうございます。ご指摘いただいた内容は、具体の施策や事業に対する内容であるため、参考意見として、庁内及び担当課と意見を共有いたします。</p>
8	48	<p>防災・消防団を「地域任せ」にする姿勢が危険。防災体制の強化を掲げていますが、現実には消防団の維持を町団や地域に丸投げしている印象が否めません。高齢化が進み、担い手が不足している中で、従来通りの精神論で「地域で頑張ってください」は無責任です。計画にはもっと具体的に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員確保の現実的施策 ・活動負担の削減 ・若者が参加できる制度 ・報酬や待遇、保険制度の整理 ・消防団の再編・縮小も含めた現実的な方針 <p>を明記すべきです。防災を重要政策にするなら、行政が「責任主体」として立たなければなりません。</p>	<p>具体的な施策や方針の提案ありがとうございます。総合計画は大まかな町の方針を策定するものですので、ご指摘いただいた具体的な内容については、参考意見として、担当課及び分団長会議等で意見を共有いたします。</p>
9	0	<p>計画策定過程における対話の場の創出について</p> <p>計画案が形づくられる前の段階から、住民と行政がともに「どんな町にしたいのか」を語り合える対話の場があると、より町民の想いが反映された計画になるのではないかと考えます。</p> <p>完成した案に意見を述べるだけでなく、構想段階から共に考える機会があることで、町民の当事者意識や参画意欲も高まり、理念に掲げられている「一体となった挑戦」がより実質的なものになると期待いたします。</p>	<p>町民意見を反映するために、各種団体の代表が委員となる振興計画審議会で計画についてご意見をいただいています。しかし、ご指摘の様に幅広く町民の意見をお聞きするため、今後はパブリックコメントの周知の方法や町民参加の方法を検討します。</p>
10	13	<p>まちの将来像の表現について</p> <p>将来像「しごともくらしもここにあるまち市川町」は、安心感のある素敵な言葉ではありますが、他の自治体にも当てはまりやすい表現でもあります。</p> <p>市川町ならではの自然、歴史、文化、人のつながりといった固有の魅力がより伝わるフレーズになることで、町内外に向けた発信力も高まるのではないのでしょうか。</p> <p>「市川町にしかない価値」が感じられる将来像の表現をご検討いただければ幸いです。</p>	<p>将来像の表現についてのご意見として承り、今後の施策推進にあたり参考とさせていただきます。</p>

2. 提出された意見と回答

No.	頁	ご意見等	回答等
11	13	<p>まちづくりの理念「住民・団体・行政が一体となって挑戦」について 理念3に掲げられている方向性には強く共感いたします。</p> <p>一方で、「決まったことが一方的に発信されているように感じる」という町民の声を耳にすることもあります。理念をより実質的なものとするためには、双方向の対話の仕組みをさらに充実させることが重要ではないかと考えます。町民が主体となり、団体や行政と協働しながら、自然を守りつつ町内で人・資源・経済が循環する仕組みを育てていくことが、市川町らしい持続可能なまちづくりにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>一方通行ではなく、人と人が対話できる町、互いの声を尊重しあえる社会となることを期待しております。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり対応します。</p> <p>【修正】</p> <p>(修正前) 「市川町の認知度向上や移住促進に向けて、文化資源や著名人、幸福度の高さを活かし、地域の魅力を内外に発信します。住民・団体・行政が一体となって挑戦し、新たな価値を共につくる市川町の実現を目指します。」</p> <p>↓ (修正後) 「市川町の認知度向上や移住促進に向けて、文化資源や著名人、幸福度の高さを活かし、地域の魅力を内外に発信します。住民が主体となり、団体や行政と協働しながら、新たな価値を共につくる市川町の実現を目指します。」</p>
12	18 19	<p>未来の教育×地域協同プロジェクトおよびデジタル活用について 教育と地域が連携する方針は大変意義深く、今後の市川町の大きな力になると感じています。</p> <p>そのうえで、教育を含めたあらゆる分野において、「デジタル化そのものが目的化」しないよう、慎重な視点も必要ではないかと考えます。</p> <p>現状でも高齢者の方々が十分に理解されないままデジタル手続きを求められるケースがあり、不安や危険性を感じる場面も見受けられます。誰一人取り残さない視点を大切にしていきたいと願います。</p> <p>教育現場におけるICT活用についても、利便性だけでなく、子どもの心身への影響や学びの質を十分に検討しながら進めていくことが重要ではないのでしょうか。</p> <p>例えば、愛知県の出川小学校のように、ICTを探求学習の道具として活用し、子どもが主体的に学ぶ教育へと転換していく取り組みは参考になると考えます。</p> <p>「与えられる教育」から「子ども自らが学びを創る教育」へ。</p> <p>さらに、学校という枠にとらわれず、多様な学びを選択できる社会へ。そのためには、子どもだけでなく、大人の意識のアップデートも必要な時代に入っているのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり対応します。</p> <p>【追記】</p> <p>分野横断の重点プロジェクト「デジタル・ICTの積極的な活用」に (追記) 「●スマホ教室などを通じて、誰一人取り残されないデジタル化を推進」</p> <p>【修正】</p> <p>(修正前) 「●探究的な学びの推進」</p> <p>↓ (修正後) 「●子どもが主体的に学べるよう探究的な学びを推進」</p>
13	24 25	<p>安心して暮らせる地域環境の整備について 町民が安心して暮らし続けられる地域環境づくりは、まちづくりの根幹であると考えます。人口減少対策労働力確保の観点から多様な人材の受け入れが進む中で、文化や生活習慣の違いによる不安を感じている町民の声もあります。そのため、受入れのあり方については地域の実情を踏まえ、丁寧な説明や対話の機会を設けるとともに、地域との共生に向けた具体的な仕組みづくりを進めていただきたいと思います。町民の安心感と、多様な人材との共生が両立できる環境を望みます。</p>	<p>全国的にも、事業所における人材不足は顕著であり、外国人労働者の力を受け入れざるを得ない状況になっています。多様な人材の受け入れのため、文化や習慣の違いに対する対話を深めるため、市川町国際交流協会では、ボランティアによる日本語教室や町内在住の外国人の国の文化を学ぶふれあいセミナーなどを開催しています。</p> <p>共生の仕組みを構築しつつ、町民の安心を大切にしていきたいと考えています。</p>

2. 提出された意見と回答

No.	頁	ご意見等	回答等
14	22 23	<p>農業の具体策について 農業を増やしていく方向性は、市川町の特徴を活かす重要な取り組みであり、大いに期待しています。「農業を伸ばす」という方向性を、実行可能な具体策として示していただけることを期待いたします。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり対応します。</p> <p>【修正】</p> <p>(修正前) 「農業に関する研修・セミナーなどを実施・支援し、農業者の農業技術を高めることにより、農業後継者の育成・定住に努め、就農人口の拡大を図ります。また、農業体験やボランティアを通じて関係人口を増やす取り組みを推進します。」</p> <p>↓</p> <p>(修正後) 「農業に関する研修・セミナーなどを実施・支援するとともに、農産物の高付加価値化やブランド化、販路拡大に向けた取り組みを支援します。農業技術の向上とあわせて収益性の確保を図ることで、農業後継者の育成・定住を促進し、就農人口の拡大を目指します。また、農業体験やボランティアを通じて関係人口を増やす取り組みを推進します。」</p>
15	61 62	<p>その他、空き家対策について 町内に見受けられる老朽化した空き家は、防災・防犯面だけでなく、景観や安全面においても課題だと思います。空き家が地域資源として再生されることで、移住促進や地域活性化にもつながる可能性があると考えますので、ぜひ力を入れてほしいと思っています。駅前活性化も望んでいます。</p>	<p>空き家対策については、ご指摘のとおり、町としても大変大きな課題として認識しています。空き家活用や除却助成については、総合戦略事業の中で拡充しています。</p>